



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

第 76 回 日本公衆衛生学会総会

日時：10月31日(火)～11月2日(木)

会場：かごしま県民交流センター
(鹿児島県鹿児島市)，他

テーマ：明治維新と薩摩と公衆衛生
—公衆衛生の黎明期を支えた地から
未来への発信

プログラム：

[10月31日(火)]

学会長講演「明治維新と薩摩と公衆衛生」秋葉澄伯(鹿児島大学名誉教授)／特別講演1「薩摩藩の近代化と世界遺産」島津忠裕(島津家第33代当主)／特別講演2「国民の健康を願った高木兼寛」栗原敏(学校法人慈恵大学理事長)／特別講演3「公衆衛生の黎明期からこれまでの歩み」多田羅浩三(大阪大学名誉教授)／メインシンポジウム1「これからの時代に向けた新たな公衆衛生の展開を目指して」座長：多田羅浩三，中俣和幸(鹿児島県保健福祉部)，演者：武見ゆかり(女子栄養大学大学院・食生態学)，中板育美(日本看護協会)，福島靖正(厚生労働省成田空港検疫所長)，宇田英典(全国保健所長会会長)，尾崎哲則(日本大学歯学部・医療人間科学)／他

[11月1日(水)]

特別講演4「健診品質維持のための調査研究と提言」杉田稔(東邦大学名誉教授)／特別講演5「私の難病物語と『難病法』」福永秀敏(鹿児島共済会南風病院・院長)／特別講演6「離島住民の健康を支える医療人育成」嶺崎俊郎(鹿児島大学歯学部医学系・国際離島医療学)／招待講演「NIH Disaster Research Response (DR2) Program」Aubrey Miller(National Institute of Environmental

Health Sciences, National Institutes of Health)／メインシンポジウム2「これからの公衆衛生と保健所の役割」座長：倉橋俊至(荒川区保健所)，曾根智史(国立保健医療科学院)，演者：山中朋子(青森県健康福祉部)，正林督章(厚生労働省健康局健康課)，青柳玲子(全国保健師長会)，曾根智史／メインシンポジウム3「災害に学び，公衆衛生・保健所のこれからを考える」座長：田上豊資(全国衛生部長会災害時保健医療活動標準化検討委員会)，金谷泰宏(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)，演者：服部希世子(熊本県県北広域本部阿蘇地域振興局保健福祉環境部)，松本珠実(大阪市阿倍野区保健福祉センター保健福祉課)，近藤久禎(国立病院機構災害医療センター副災害医療部)，金谷泰宏，田上豊資／メインシンポジウム4「人口減少・高齢社会における社会保障制度の継続を目指して」座長：石崎達郎(東京都健康長寿医療センター研究所)，八田冷子(鹿児島純心女子大学)，演者：安本勝博(岡山県津山市役所健康増進課)，松田晋哉(産業医科大学医学部・公衆衛生学)，豊重哲朗(鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館館長)，能勢佳子(肝付町役場福祉課)，逢坂悟郎(兵庫県丹波健康福祉事務所)／他

[11月2日(水)]

特別講演7「あなたのリスク，ほどよいクスリ？ 日本における Choosing Wisely 活動」徳田安春(群星沖縄臨床研修センター・センター長)／特別講演8「自治体の所管する学校健診情報，母子保健情報のデータベース化とその利活用」川上浩司(京都大学大学院医学研究科教授・薬剤疫学)／特別講演9「大気汚染による健康リスクの現状と低減への課題」新田裕史(国立環境研究所環境リスク・健康研究センター)／メインシンポジウム5「薬剤耐性(AMR)への対策—国民啓発会議からの提言を受けて」座長：大曲貴夫(国立国際医療研究センター国際感

染症センター)，西順一郎(鹿児島大学大学院歯医学総合研究科・微生物学)，演者：田中剛(広島県健康福祉局長)，中里栄介(佐賀県唐津保健所)，大曲貴夫，征敏敏(日本医師会常任理事)，阿真京子(知ろう小児医療守ろう子ども達の会会長)／他

問い合わせ：株式会社コンベンションリンクージュ

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多偕成ビル

☎ 092-437-4188

FAX 092-437-4182

✉ jsph76@c-linkage.co.jp

URL www.jsph.jp

「歩く人。」インストラクター 養成講習会

日時：2017年11月25日(土)～11月26日(日)

会場：株式会社ルネサンス本社(東京都墨田区)

カリキュラム：

[1日目]

地域一体感の創造とリーダーづくり
／「歩く人。」は元気に歩き続けるプログラム／ロコモティブシンドローム／「歩く人。」体力測定マニュアル／歩行寿命を延ばす歩き方／歩くための筋トレ，ストレッチ，バランストレ，セルフマッサージ／歩くための脳と体の準備—シナプソロジー

[2日目]

糖尿病，高血圧，脂質異常症／心臓病，脳卒中，認知症，肥満，その他の疾病／「歩く人。」は長生きであることを科学的に検証する／メンタルヘルス，認知症／認定試験

講師(予定)：羽鳥裕(日本医師会常任理事)，佐藤真治(大阪産業大学教授)，大西一平(OVALHEARTJAPAN代表理事)，土井龍雄(ダイナミックスポーツ医学研究所顧問)，玉川純子(シナプソロジーアドバンス教育トレーナー)，佐々木夏子(同)

受講対象資格：①「歩く人。」の活動に賛同する，②以下のいずれか1つに該当する(a. 医師，歯科医師，

看護師、准看護師、保健師、助産師、薬剤師、栄養士、あんまマッサージ師、鍼灸師、柔道整復師、理学療法士、管理栄養士、栄養士、作業療法士、言語聴覚士、健康運動指導士、健康運動実践指導者、臨床検査技師、ヘルスケアトレーナー、日本体育協会公認アスレチックトレーナー、日本体育協会公認コーチ、NSCA-CPT、JAFA/GFI、シナプソロジー普及会認定指導者、いきいき・のびのび健康づくり協会認定指導者の資格を有している、b. 運動指導歴が3年以上、c. 上記の条件と同等以上の能力を有すると事務局が認定した人、③非喫煙者が望ましい
受講料：2万6000円(税込、テキスト代、認定試験料含む)
※試験合格後、「歩く人。」インストラクターとして認定(登録料1万2000円〔2年間〕が別途必要)

取得可能教育単位(2日間の合計)：健康運動指導士・健康運動実践指導者：講義5.0／実習3.5、JAFA/GFI：8.5、ACSM/EP-C：5.0

申し込み：下記webページ「申し込みフォーム」から(セミナー・イベント>登録更新講習会／「歩く人。」養成講習会)

問い合わせ：公益社団法人日本フィットネス協会

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-8-7 飯野ビル5階

☎ 03-5875-1035

FAX 03-5875-1057

URL www.jafanet.jp

平成 29 年度日本在宅看護学会主催研修セミナー 第 7 回日本在宅看護学会学術集会 同時開催

日時：11月26日(日)13：15～14：45
会場：山梨県立大学看護学部池田キャンパス3号館(山梨県甲府市)

プログラム：「多死時代を支える看護師の役割—ICTを活用した死亡診断の理解・普及に向けて」浅田祥乃(厚生労働省医政局看護課看護

サービス推進室係長)／「看取りに関する研修(仮)」受講などに関する質疑・応答

定員：150名(定員になり次第締切)

参加費：会員・学生3000円、非会員5000円

※当日会場で支払い。学術集会参加者は参加証の提示で無料。資料準備の都合上、事前申し込みが必要。

申し込み締切：10月31日(火)

申し込み方法：氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、携帯電話以外のメールアドレス、会員資格の有無、会員番号を記入した参加申込書を下記メールアドレスまたはFAX番号まで送信

問い合わせ：南区医師会訪問看護ステーション(担当：高砂)

✉ hokan@hokan-minami.jp

FAX 045-712-0361

第 6 回日本公衆衛生看護学会学術集会

日時：2018年1月6日(土)、7日(日)

会場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)(大阪市北区)

プログラム：

[1日目]

会長講演「公衆衛生看護の原点から未来へつなぐ—健康格差解消にむけ、地域の人々と協働する新たな保健師の力」上野昌江(大阪府立大学大学院看護学研究科)／基調講演「格差の中の死から学び、生きる支援としてのまちづくりへ」反町吉秀(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)／教育講演 I 「Public Health Nurses . “Kuroko” addressing health disparities in the U.S.」Lee Smithbattle(セントルイス大学看護学部)※同時通訳あり／特別シンポジウム「健康格差のなかで生きる人々への支援」『健康格差縮小に向けた公衆衛生活動—保健師への期待』松田亮三(立命館大学)、『特定健診未受診者への家庭訪問からみえた健康格差の実態と支援』和泉京子(武庫川女子大学)、『離島に

おける地域包括ケアシステムの基盤整備』森山美知子(広島大学)／ヒストリカルセミナー I 「保健師の力量格差と地域の健康問題の取り組み」久常節子(元国際医療福祉大学)

[2日目]

教育講演 II 「10代の母親理解と支援のあり方」森本志磨子(NPO法人子どもセンターぬっく理事長)／シンポジウム I 「場の特性を活かし健康格差に取り組む」有馬和代(大阪市東住吉区)、武藤昌子(東京東部地域産業保健センター)、廣末ゆか(高知県中芸広域連合)、持田恵理(群馬県邑楽郡大泉町役場)／シンポジウム II 「着実に積みあげる保健師の力量形成」中板育美(日本看護協会)、森永裕美子(国立保健医療科学院)、藪本初音(大阪市健康局健康推進部)、蒲田廣子(豊中市)／ヒストリカルセミナー II 「公衆衛生看護としての学校看護の歴史と課題」瀧澤利行(茨城大学)／市民公開講座(参加費無料、助成：勇美記念財団)『在宅医療』知っていますか？ 家で最期まで療養したい人に。—ALSの日常を生きる患者・家族……保健師さんの役割とは？ 川口有美子(日本ALS協会)／アクティビティ「堺コックラ体操」今津弘子(堺市)

参加費(当日)：会員9000円、非会員1万円、学生(院生を除く)3000円
問い合わせ：第6回日本公衆衛生看護学会学術集会事務局

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3-7-30 大阪府立大学大学院看護学研究科地域看護学分野

✉ japhn-6@nursing.osakafu-u.ac.jp

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

FAX 03-5804-0485

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp